



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社よみうりランド

上場取引所 東

コード番号 9671 URL <http://www.yomiuriland.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 美邦

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 経理部担当 (氏名) 久米沢 賢尚 (TEL) 044-966-1134

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,713	△5.5	407	△25.3	556	△35.4	1,354	—
29年3月期第1四半期	4,986	18.7	545	△18.6	861	△15.1	△842	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,319百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △1,601百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	17.61	—
29年3月期第1四半期	△10.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	69,093	26,779	38.8
29年3月期	68,312	25,652	37.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 26,779百万円 29年3月期 25,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	2.50	—	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は2円50銭となり、1株当たり年間配当金は5円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,290	0.0	930	△18.5	1,080	△31.1	1,700	—	22.11
通期	20,150	△4.3	1,350	△35.9	1,560	△40.5	1,980	△44.3	257.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	83,522,024株	29年3月期	83,522,024株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	6,637,494株	29年3月期	6,636,798株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	76,884,818株	29年3月期1Q	77,283,661株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月22日開催の第93回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。

なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成30年3月期の配当予想  
 1株当たり配当金 第2四半期末 2円50銭 期末 2円50銭 年間配当金合計 5円00銭
- 平成30年3月期の連結業績予想  
 1株当たり当期純利益 第2四半期(累計) 22円11銭 通期 25円75銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に改善の遅れがみられるものの、緩やかな回復基調が続きました。当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費については、持ち直しの動きが続く状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは新規イベントの開催や既存イベントの強化などの積極的な営業展開により、顧客満足度の一層の向上に努めて参りました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同四半期比1日減となる15日開催されました。6月には重賞「関東オークス」が開催され、売上金額において昨年のレースレコードを更新するなど盛り上がりを見せました。また、新たな顧客の獲得を目指し、「神奈川キャンピングカーフェア」や「100円ビールフェスin川崎」など様々なイベントを開催したところ、平成28年2月にオープンした商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」からの利用客も相まって、多くのお客様で賑わいました。なお、JRAの場外発売施設「ウインズ川崎」は、前年同様26日実施されました。船橋競馬は、前年同様15日開催されました。3年目を迎えたナイトー競馬「ハートビートナイトー」は、今年も4月から開催いたしました。5月にはビッグレース「かしわ記念」が開催され、同日には恒例の「おうまフェス2017」を近隣商業施設と共に主催し好評を博しました。JRAの場外発売「J-PLACE船橋」は前年同様13日実施されました。平成28年4月にオープンした複合型場外発売施設「サテライト船橋・オートレース船橋」での発売は前年同四半期比7日増となる91日実施されました。オートレース選手とのファンミーティングなど様々なイベントを開催し、好評を博しました。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、自主コンペを積極的に開催したこともあり、入場者は増加いたしました。なお、本年7月20日より乗用カートの運用を開始いたしました。よみうりゴルフ倶楽部は、自主コンペが堅調に推移したことや積極的な外部営業などを実施した結果、入場者は増加いたしました。なお、遊園地のイベント「ほたる・ねぶたの宵」と連携したクラブハウスレストランのイベント「ほたる・ねぶたの宵 特別ディナー」を開催し、好評を博しました。静岡よみうりカントリークラブは、レディースウィークなど女性をターゲットとした施策を継続的に実施いたしました。また、特産品やスイーツなどを賞品としたオープンコンペなどが集客に寄与した結果、入場者は増加いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、リピーター獲得のため、来場者に積極的にアピールする優待施策などを実施した結果、入場者は増加いたしました。

遊園地部門の遊園地では、今年もゴールデンウィークに全国のご当地グルメを集めた「全国ご当地大グルメ祭2017」を開催し、初夏には恒例のほたる観賞イベントが今年は青森ねぶたを会場内で展示する「ほたる・ねぶたの宵」として開催され盛り上がりを見せました。また、6月中旬からはエンタテイメントプロジェクト「HIGH&LOW」の世界を体験できる「HIGH&LOW THE LAND」と「HIGH&LOW THE MUSEUM」を開催し、好評を博しております。しかしながら、4月の悪天候や前年同四半期の入場者数が昨年3月にオープンした「グッジョバ!!」による効果で高水準だった影響もあり、入園者は減少いたしました。温浴施設「丘の湯」は、食品の抽選会や回数券ポイント2倍キャンペーンなどのイベントが好評を博しましたが、4月の荒天の影響などにより入場者は減少いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では「ほたる・ねぶたの宵」と連携した「天安 ほたる・ねぶたの宵 特別ディナー」を実施したほか、プラザ内のベーカリーや和菓子店においても「ほたる・ねぶたの宵」にちなんだ商品を販売し、好評を博しました。温浴施設「季乃彩（ときのいろどり）」は、変わり湯などのイベントを実施した結果、入場者は増加いたしました。ゴルフガーデン（練習場）は、「スタンププラス1キャンペーン」や「梅雨入りスタンプ2倍デー」などのイベントを実施した結果、入場者は前年並みに推移いたしました。親子向け屋内遊戯施設「キドキドよみうりランド店」は、「ほたる・ねぶたの宵」と連携したイベントを開催し好評を博したものの、外遊び向きの日が多かった事などもあり入場者は減少いたしました。商業施設「グランツリー武蔵小杉」内の「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」は、平日イブニングパスの発売や総来場者数が50万人を達成した記念イベントなどが好評を博したものの、外遊び向きの日が多かった事などもあり入場者は減少いたしました。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は42億5千2百万円（前年同四半期比5.4%減）となりました。

また、不動産事業の売上高は3億1千4百万円（同10.1%減）、サポートサービス事業の売上高は5億9千9百万円（同8.4%減）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は47億1千3百万円（前年同四半期比5.5%減）、営業利益は4億7百万円（同25.3%減）、経常利益は5億5千6百万円（同35.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は固

定資産売却益などにより、13億5千4百万円（前年同四半期は8億4千2百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億8千1百万円増加し、690億9千3百万円となりました。これは、有形固定資産が6億2千万円減少、受取手形及び売掛金が5億9千9百万円減少したものの、現金及び預金が19億4千3百万円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期末における負債は、前連結会計年度末に比べ3億4千4百万円減少し、423億1千4百万円となりました。これは、長期借入金が5億2千5百万円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ11億2千6百万円増加し、267億7千9百万円となりました。これは、四半期純利益の計上等により利益剰余金が11億6千1百万円増加したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の37.6%から38.8%に増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、おおむね計画通りに推移するものと見込んでいるため、平成29年5月12日発表の数値から変更はございません。

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,313,770	6,257,282
受取手形及び売掛金	1,566,469	967,331
たな卸資産	135,427	196,473
繰延税金資産	136,813	94,303
その他	206,598	289,351
貸倒引当金	△1,028	△398
流動資産合計	6,358,050	7,804,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,785,539	27,522,484
土地	16,390,743	16,225,448
建設仮勘定	109,905	130,983
その他(純額)	4,841,323	4,628,478
有形固定資産合計	49,127,512	48,507,395
無形固定資産		
その他	66,366	69,598
無形固定資産合計	66,366	69,598
投資その他の資産		
投資有価証券	12,261,746	12,240,820
繰延税金資産	185,738	182,477
その他	312,608	289,274
投資その他の資産合計	12,760,094	12,712,571
固定資産合計	61,953,973	61,289,566
資産合計	68,312,023	69,093,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	448,848	415,529
短期借入金	2,070,000	2,070,000
1年内返済予定の長期借入金	1,424,236	1,642,556
未払法人税等	250,145	592,232
賞与引当金	131,345	34,038
その他	1,858,563	1,666,273
流動負債合計	6,183,138	6,420,629
固定負債		
長期借入金	8,754,764	8,228,945
繰延税金負債	2,460,701	2,434,304
退職給付に係る負債	522,857	525,949
長期預り金	24,196,655	24,163,966
その他	541,266	540,738
固定負債合計	36,476,244	35,893,903
負債合計	42,659,383	42,314,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,631	4,730,631
利益剰余金	12,904,854	14,066,762
自己株式	△2,277,354	△2,277,674
株主資本合計	21,411,161	22,572,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,244,831	4,210,150
繰延ヘッジ損益	△3,352	△3,522
その他の包括利益累計額合計	4,241,479	4,206,628
純資産合計	25,652,640	26,779,377
負債純資産合計	68,312,023	69,093,910

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,986,525	4,713,246
売上原価	3,936,701	3,792,926
売上総利益	1,049,824	920,320
販売費及び一般管理費	503,833	512,525
営業利益	545,991	407,795
営業外収益		
受取配当金	149,268	151,115
建設発生日受入金	160,392	—
その他	25,891	11,386
営業外収益合計	335,552	162,501
営業外費用		
支払利息	16,593	12,093
その他	3,431	1,256
営業外費用合計	20,025	13,350
経常利益	861,518	556,946
特別利益		
固定資産売却益	—	1,454,704
特別利益合計	—	1,454,704
特別損失		
固定資産除却損	1,236,632	47,984
減損損失	1,356,662	—
特別損失合計	2,593,294	47,984
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,731,776	1,963,666
法人税、住民税及び事業税	140,400	574,809
法人税等調整額	△1,029,415	34,736
法人税等合計	△889,014	609,545
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△842,761	1,354,121
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△842,761	1,354,121



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△842,761	1,354,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△757,790	△34,680
繰延ヘッジ損益	△1,139	△170
その他の包括利益合計	△758,930	△34,850
四半期包括利益	△1,601,692	1,319,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,601,692	1,319,270
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,491,178	349,485	145,861	4,986,525	—	4,986,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,808	900	509,074	511,783	△511,783	—
計	4,492,986	350,385	654,936	5,498,308	△511,783	4,986,525
セグメント利益	742,087	227,328	31,984	1,001,400	△455,409	545,991

(注) 1. セグメント利益の調整額△455,409千円には、セグメント間取引消去△709千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△454,699千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合レジャー事業」セグメントにおいて、当社の所有する船橋オートレース場の諸資産に関して、工作物等を取去るうえ、土地所有者に明け渡すことで合意に達しました。これに伴い、当第1四半期連結累計期間に固定資産の減損損失1,356,662千円を計上しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,250,875	313,986	148,384	4,713,246	—	4,713,246
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,553	900	451,607	454,060	△454,060	—
計	4,252,429	314,886	599,991	5,167,307	△454,060	4,713,246
セグメント利益	636,362	199,264	32,999	868,626	△460,831	407,795

(注) 1. セグメント利益の調整額△460,831千円には、セグメント間取引消去3,212千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△464,043千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。